

誰一人取り残さない社会へ



逢坂誠二立憲民主党代表代行と

コロナ 第7派に嚴重警戒を

コロナは、より感染力の強いオミクロン株に置き換わり、一日当たりの新規感染者が一千人を超えるなど爆発的な感染拡大に至っています。入院ベッドは徐々に利用率が上昇しています。また、外来診療に当たる医療従事者は疲労の色が隠せない状況です。第7派の感染拡大に嚴重に警戒しつつ生活をしていきたいと思います。

6月議会ではコロナ対策と原油高・物価高対策が主題

コロナ対策として、宮崎駅や宮崎空港などに開設している検査センターや、各地の薬局などが担う無料検査実施事業所など、県内70カ所でのPCR検査や抗原検査の無料検査が行われています。今後、実施件数が増加すると予想されることから、その予算を二倍以上にしました。さらに、高齢者施設等に検査キットを配布したり、入院された方の公費負担の増額や、自宅療養者のフォローアップ、食糧支援を行うなどの支援策の強化などを含め60億円余の増額補正をしています。ホームページ「宮崎県 新型コロナウィルス感染症対策特設サイト」に詳しく掲載されています。

世界に平和を！
戦争反対！

子どもにも優しい社会を

岩切たつや

県議会 便り

2022年7月 発行
 県議 岩切たつや
 住所 880-0942
 宮崎市生目台東1丁目6-8
 電話0985-89-5158
 fax 0985-86-8778



子どもの笑顔を守る政治

原油や物価の高騰に対する対策としては、低所得世帯や生活困窮世帯に直接支援を行う対策と、保育所の給食費支援、学校授業料への支援などが用意されています。また交通・物流事業者による燃料高騰に対する補助事業、農業分野の燃料や肥料、資材の高騰対策や、宿泊事業者における原油高騰対策など、多面的な対策が50億円余の予算で準備されました。

感染症・物価高とたたかう
 急激な感染拡大と、急激な物価上昇、いずれも厳しい課題が突きつけられている状況です。

宮崎県へ、移住促進しています
 一年間に県外から宮崎県内に移住された方は、昨年度884世帯、1,617人であると、議会で報告されました。一昨年度が755世帯、1,326人、その前の年は558世帯、973人。いま、都市から地方への人口移動を求めている国ほとんどの県や市町村が力を入れている政策です。県では、宮崎ひなた暮らしUIターンセンターを運営し、東京・大阪・福岡に支部を置いています。東京有楽町にある「ふるさと回帰支援センター」には、全国各地の移住支援の窓口が集まっております。宮崎県の窓口もここにあります。このような相談窓口の運営に加え、県と市町村で一緒になって、「移住支援金制度」を支給して


にあります。コロナの初期段階から訴えているように、根拠無く「軽症らしい、大したことはない」とか思うのではなく、正しく恐れることが大事だと考えます。罹患した場合には、一週間程度は食糧確保に苦労されるようです。用心のため備蓄をお勧めします。自分で出来ることはやっておきたいものです。

参議院選挙は、力が及ばず厳しい結果となりました。それでも私は、働く者の立場を守り、全ての子どもたちに、幸福な未来があるように祈ると同時に、行動していきます。

立憲民主党県議会議員

岩切たつやプロフィール

1979年県庁入庁し、児童相談所、福祉事務所等に勤務。その間、労組委員長、PTA会長など労働運動、地域活動に取り組む。2015年県議選に初当選、現在二期目。厚生常任委員会委員長
 立憲民主党宮崎幹事長
 現在61歳
 社会福祉士、宮崎県登録養育里親



ご意見、ご要望をお聞かせください。

います。それは、2人以上の世帯であれば100万円、単身者は60万円という内容。子ども加算をする市町村があり、高鍋町と川南町が最高で、1人に30万円、最高一人まで。夫婦、子ども二人であれば160万円の支援金が出るということになっています。努力が実って実績が伸びつつあります。移住先として昨年度、一番多くの方に選ばれたのは、市部は宮崎市、町村部は川南町になっています。宮崎県の出生数はR2年で7,720人。一方で、死亡数は14,140人。人口の自然減を埋めるほどの移住は未達ですが、人口減少に歯止めをかける努力は継続が必要です。皆さんの周りに、この夏、Uターン希望者いませんか。移住支援金が適用になるかもしれませぬよ。

一日でも早いコロナ収束で、安心の生活を

ロシアのウクライナ侵略に反対します

提案された事業や同僚議員の質問・答弁をご紹介します。

◆山之口駅バリアフリー化事業 3500万円

国民スポーツ大会・障がい者スポーツ大会の会場となります山之口新陸上競技場の最寄り駅であるJR山之口駅を、都市がバリアフリー化する(ユニバ)一部負担をします。



新陸上競技場の完成予想図



跨線橋を撤去して、駅舎から直接ホームに渡ることが出来る通路を設けるそうです。

◆生活困窮者法律相談支援事業 771万円

生活に困窮する方々への支援のため、要件を満たす方に対し、債務整理や返済に関する法律相談をする際の負担を軽減して、家計改善、自立の促進を図るものです。



コロナによる生活困窮者には、生活福祉資金や様々な借入れをされた方がおり、いよいよ返済となったときにお困りの方が多くいます。十分な支援が必要です。詳しくは市社会福祉協議会、郡部は福祉事務所へ。

◆保育所等給食緊急支援事業 1億6千万円

保育所等への給食支援を行う市町村に、材料費高騰分を補助する

◆県立学校給食等緊急支援事業 2,875万円

県立学校に通う子どもの学校給食等について、PTA等に対し、食材単価の高騰分を補助(市町村立小中学校は、市町村が支援しています)

◆私立学校授業料等緊急支援事業 2億9,790万円

私立学校に通わせる世帯の内、世帯収入が一定額未満の世帯の教育費負担を軽減するため、私立学校に生徒一人5万円を上限に補助する

口ほかの議員の質問と答弁を紹介します
★質問★(＊パートナーシップ宣誓制度について)
佐賀や福岡では県としての制度の導入をしている。宮崎県でも導入するべきでは。＊同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め証明書を自治体が発行する制度です。

★答弁★(知事)
宣誓制度は広がっていると認識しているが、多くの人の理解が必要であるものと認識。今後検討して参りたい。

★私の思い★ 県内で6市町村が導入しています(全国で2月1日現在149自治体)。札幌地裁では同性パートナーが異性カップルと同様の法的保障を受ける権利があると判断しました。多様性を認め合う社会は、誰もが生きやすい社会に歩んでいくことにつながります。

★質問★(JR路線の維持)
コロナの打撃で利用者が減少し、燃油高騰もある。維持策は?
★答弁★(総合政策部長)
日南線、吉都線の利用増は難しい課題。維持できるか断言できない。特に油津から志布志間は厳しい状況にある。利用促進しかない。大規模な災害を受けると以後の復旧は難しいこともある。



★私の思い★ 公共交通の維持はバスも鉄道も難しい課題がたくさん。でも無くなってしまうと、復活はないでしょう。公と民とが力を合わせ、住民の交通手段を守りましょう。

◆4月18日臨時会 議会の任務確認が主な内容で、私は、厚生常任委員会委員長、議事運営委員になりました。◆6月10日～6月28日定例県議会 162億9千万円余の補正予算が提案されました。◆6月22日～7月10日参議院選挙 くらだ奈々さんを擁立し、勝利を目指して精一杯取り組みました。私は県連幹事長として選対事務局長に就任しがんばりました。＊定例県議会の内容については、詳しくは県広報や宮崎県庁ホームページをご覧ください。



↑泉代表、しっかり!



運動議員自身も候補者ですが、応援に来てくださいました!



集会で司会を務める岩切



小川政調会長や、西村智奈美幹事長も応援に!

山室門川町長に表敬訪問

★質問★(次期の行革プラン)
大災害対応やコロナなどもあり、行政需要は高くなっているなかで、職員を増員すべきと思うが、新行革プランの職員数目標は?

★答弁★(知事)
この間、知事部局は3,800人前後で推移しているが、今後、感染症や南海トラフ等大災害への対応、国スポ・障スポなど行政需要は高まる。働きやすい職場にもする必要があるので、必要な分野に必要な人材を確保できるように努めていく。

★質問★(技術系職員の確保)
大災害など危機事象に対応するため技術系人材確保が必要だ。民間

★質問★(総務部長)
受験者数の減少が続いている。採用辞退もあるなど厳しい状況にある。試験制度の見直しなどで受験者を確保しようとしている。また、高校、大学での説明会など努力している。

★私の思い★ 少子化等の影響で技術系人材に限らず、事務系も、また警察官なども確保に苦労しています。地域では介護人材、医療人材、保育人材、農業、林業、水産業、製造業どの分野でも厳しいことから、全体での人材確保策を講じる必要があります。

